



10/9~10全国医学生のつどい 2nd Quarter

「貧困」-医学生が貧困について考える-

「第37回民医連の医療と研修を考える医学生のつどい」
Second Quarter が静岡県伊東市で開催されました。

愛媛大学医学部3年生と2年生の2名が参加しました。

特別報告では、名古屋のNPO法人ささしまサポートセンターから様々な相談事例（末期がん・前科9犯・知的障害など）を通して、社会的に弱い立場にある人がたくさんいる事、将来に希望を持ってなくて、自殺や失踪する人が後を絶たない事を知ってほしいと訴えました。

学習講演では、岐阜民医連の医師からホームレス支援を通して調査した結果、ホームレスには、知的障害や精神疾患の方が多くことや様々な理由から路上生活から抜け出せない理由があると報告がありました。



学生からは、「テーマが大きすぎて、すぐどうこうで
きるものではないが、自分達に何ができるかちゃんと考
えたい」「貧困になる原因は、100%自己責任とはいいき
れないと思うし、もっと社会全体で支えていく問題だと思
う」「国や行政がもっと関わるべき問題だと思う」「生
活保護がマイナス要素に捉えられている。命に係わる
状態になる前に申請するよう支援したらいいと思う」などの感想が出されました。SGD
では活発な意見交換もでき、いろいろな考えや思いが聞けてとても有意義な時間になりました。

“ちょっと考えてみませんか？”

小学2年生の男の子がいます。

両親がお金を置いて失踪し残ったお金を使って
コンビニで食事を買って生活していました。しばらくして、元々両親が料金滞納していた為、電気、
ガス、水道が止められてしまいました。どうして
いいのかわからず、街中に出て過ごしていました。

路上で暮らしている人に声をかけられ、食事・
寝床などテント生活を共にするようになりました。男の子は、その人に言われるがままにアルミ
缶を拾い集めることになりました。



さて、あなたがこの男の子に出会ったら、
また、その存在を知ったらどうしますか？
何ができるでしょうか？

Topics!

看護学生

たま cafe を開催しました

10月22日(土)恒例のたま café(看護奨学生会議)を愛媛生協病院で開催しました。

奨学生4名が参加し、病棟で行なわれているレクレーションについて学びました。講師は谷ソーシャルワーカー。

主に認知症患者さんを対象としたレクレーションについて学びました。

レクレーションの種類について、認知度によって対応を変えていることについてなど学び、最後はみんなで実際にレクレーションの内容を実践していました!

魚釣りをしたのですが、以外に難しかったです。

実習先でレクレーションの内容などを考える機会があると思いますが、少しでも役に立ってでしょうか?



医学生

10/19 臨床推論学習会 開催!

10/19(水)愛媛生協病院にて臨床推論学習会を開催!講師は家庭医の原穂高医師。参加者6人中4人が初参加者でしたが、たくさん質問や意見が出て議論が盛り上がりました。

今回は3症例で学習。学習を進めると、実はみんな鑑別は「低血糖」でした!最後に「低血糖」のさまざまな原因についても詳しく学びました。来月もご参加お待ちしております!



薬学生

服薬指導をしてみよう



10月28日(金)薬学生奨学生会議を開催しました。

今回は、愛媛医療生協「模擬患者の会」の方々をお呼びし、服薬指導の模擬を行ないました。

参加した学生は2年生の3名で、実際に授業で服薬指導を習うのはまだ先ですが、実際に薬剤師として患者さんとどう接したらいいのか、参考になったのではないのでしょうか?



愛媛医療生協 学生サポートセンター

愛媛大学医学部近くのシトラスヒルズ 101号室にあるサポートセンターでは、毎週水曜日 12:00~13:30 にランチミーティングを開催しています。お友達誘いあわせて来てください。医学生・薬学生・看護学生みなさんの参加をお待ちしています!!



↓お問合せはこちらまでどうぞ↓

●愛媛県民医連事務局●

Tel:089(990)8677

(小笠原、林、村中、坂本)

Mail:a-ogasawara@ehime-med.org